

3 ダブル免許プログラム

▶ダブル免許プログラム
詳細はp.78

2016年4月より、学校教育上の課題となっている『中1ギャップ』に対応するため義務教育学校の制度がスタートしました。義務教育学校に勤務する教員は小中学校の免許の“併有”が原則となりますので、この先、採用を行う各教育委員会においては小中学校の両免許を所持する教員を積極的に採用することが想定されます。

また、教員採用試験においても中学校や高等学校に比べ小学校の採用数が圧倒的に多いため、倍率（全国平均 小3.9倍、中高7.8倍）には大きな差がありますし、教員としてキャリアを重ねるうちに、芽生えた異校種での転任も可能になる等、キャリアプランが大きく広がります。

したがって、ダブル免許プログラムにて初等教育と中等教育の免許を取得することは、教員を目指す皆さんにとって大きなメリットとなります。

- 昨今、多くの大学で初等教育（とくに小学校）の教育職員免許状と中等教育（中学校・高等学校）の教育職員免許状取得ができる仕組み（ダブル免許プログラム）が話題になっています。本学では10年以上前から全学的に整備しています。
- 近年の大きな課題となっている学校間の円滑な接続への対応や、教員の資質という点においても、例えば、初等教育（とくに小学校）の教員が中等教育（中学校・高等学校）の免許を持ち特定の教科・領域について専門的知識を有していれば、子どもたちが小学校を終了後に中学校や高等学校で何を学ぶのかを理解できますので、見通しをもった指導ができます。これが「ダブル免許プログラム」のメリットです。

本学におけるダブル免許プログラム

本学では、取得を希望する免許によりダブル免許プログラムのシステムが異なります。

■ダブル免許プログラムのシステム

対象学科	対象免許	履修時期	内容
文学部 国語教育学科 英語教育学科 農学部 生産農学科 工学部 情報通信工学科 ソフトウェアサイエンス学科 マネジメントサイエンス学科 芸術学部 芸術教育学科	小学校2種	特別学期における履修	左記の学科に所属し教職課程を受講している学生は、中等教育（中学校・高等学校）と合わせて、初等教育（小学校）の教育職員免許状が取得できます。詳細は『教職課程受講ガイド』p.78～82を参照してください。
教育学部 教育学科	中学校2種（英語）	通常学期における履修	本学創立以来中核にすえてきた学校教員を目指すモデルのひとつとして、初等教育を中心に中等教育を学ぶモデルを用意しています。各自の希望に合わせて取得が可能ですが、受講条件が課されている場合があります。詳細は『教職課程受講ガイド』p.81およびp.83～85を参照してください。
	中学校2種（国語）		
	中学校2種（数学）		
	中学校2種（理科）		
	高等学校1種（情報）		